堀井さん会田さん最高賞

来夏の全国総文祭出場へ

高文連の第50回全道高校書道展・研究大会（5～7日・釧路市）で、十勝から帯広大谷高校の堀井麻由さん（2年）と江陵高校の会田咲彩（さあや）さん（同）が最高賞の道高等学校文化連盟賞に輝き、来年夏に宮城県で開かれる全国高校総合文化祭（総文祭）の出場権を得た。

全道大会には道内151校の書道部員らが計800点の作品を出展。文化連盟賞は77人が受け、このうち3年生を除く17人が全国推薦候補者に選ばれた。

堀井さんは中国・唐の第2代太宗の行書「温泉銘」を臨書した。顧問の高橋祐介教諭の勧めで挑戦。約3週間かけて完成させ、「難しかったけれど楽しく書けた。文字の大小を意識できたと思う」と納得のいく作品に仕上げた。

同校書道部から全国に推薦されたのは初めて。堀井さんは「全国でたくさんの刺激をもらいたい。これからもいろいろな技術を身に付け、その中で自分らしさを表現できるように頑張りたい」と話し、高橋教諭も「筆の開閉など長所を生かし、今後も作品づくりに取り組んでほしい」と期待している。

一方、会田さんは、中国の秦や漢王朝の時代に木の板に書かれた「木簡」調の作品に挑戦。「柔らかさがありつつも力強い作品を書きたい」と、日頃の部活動や夏休みの合宿で300枚近く練習し完成させた。

高校から書道を始め、小学1年で始めた剣道も続ける文武両道の会田さん。全国に推薦され、「まさか自分が選ばれるとは。うれしさをどう表現していいか分からない」と喜び、全国に向けて「もっと力強い作品を書きたい」と励む。

顧問の石原伸弥教諭も「作品は次の文字に向かっていくリズムがいい。努力のたまもの」と評価。同校からは2年連続の全国出場に「先輩の活躍を見て、全員がやる気になってくれている」と話す。

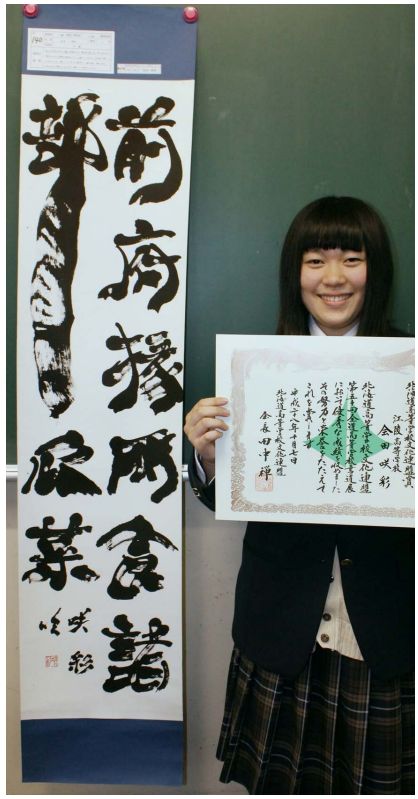
（眞尾敦、松田亜弓）

管内からのその他の入賞者は次の通り。（敬称略）

▽**道高等学校文化連盟賞**＝中山初音（帯広南商3年）小山彩華（同同）乙部日菜（江陵同）山田彩乃（帯広三条同）辻萌瑠（帯広大谷同）相樂まゆ（同同）▽**優秀賞**＝西川晶子（広尾2年）佐藤宏香（帯広北同）今井菜菜（帯広三条同）中島こゆき（同同）田宮滉太（同同）安倍さやか（帯広柏葉同）久野朝之介（同同）高橋月香（同同）佐藤亜佳梨（帯広緑陽3年）山保優奈（江陵2年）上村空（鹿追同）佐々木美奈実（清水同）

高文連 全道書道展・研究大会

「文字の大小を意識した」という作品と堀井さん



柔らかさと力強さを追い求めた作品と会田さん